

平成21年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成20年8月7日

上場会社名 株式会社 大運
 コード番号 9363 URL <http://www.daiunex.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

(氏名) 高橋 健一
 (氏名) 西川 秀夫

上場取引所 大
 TEL 06-6532-4101

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	2,009	—	△6	—	4	—	△11	—
20年3月期第1四半期	2,330	37.2	△24	△158.3	△24	△155.1	1	△96.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	△0.19	—
20年3月期第1四半期	0.02	0.02

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
21年3月期第1四半期	6,291		2,623		41.7		44.79	
20年3月期	5,956		2,928		44.1		44.88	

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 2,623百万円 20年3月期 2,628百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	1.00	1.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	4,733	—	79	—	56	—	32	—	0.55
通期	9,450	0.0	177	—	125	—	72	—	1.23

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、2～3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他 をご覧下さい。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、2～3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他 をご覧下さい。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 58,643,375株 20年3月期 58,643,375株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 82,207株 20年3月期 81,567株
 ③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第1四半期 58,561,648株 20年3月期第1四半期 58,543,567株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当時事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。
 ・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期は、米国サブプライムローン問題に端を発して世界経済が減速傾向となり、わが国経済も原油や原材料価格の高騰等による企業収益の悪化、生活必需品の値上がりによる個人消費の低迷などの要因により、減速感を強めながら推移しました。

当社の当第1四半期の営業収入は前年同期比△231,104千円(△9.9%)の2,099,318千円となりました。一部の営業上の立替金を営業収入と営業原価の双方に含めて計上しておりましたが、当第1四半期からの新システム導入に伴い当該立替額を正確に把握できることになったため、財政状態及び経営成績をより適切に表示すべく、損益計算書上は両建計上を行わないことに変更いたしました。これにより、従来の方法によった場合に比べ、営業収入、営業原価がそれぞれ398,020千円少なく表示されております。

前事業年度からの大手荷主の生産調整は一段落したものの、全般的な落込みを補うには至りませんでした。

また特別損失として貸倒引当金繰入7,324千円、投資有価証券評価損6,793千円を計上しました。

この結果、当第1四半期間の営業損失は6,441千円、経常利益は4,557千円、四半期純損失は11,391千円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期会計期間末における(前事業年度比335,653千円の増加、5.6%増)となりました。これは現金及び預金の増加148,494千円、立替金の増加291,062千円、営業未収金の減少△172,900千円等によるものです。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債は3,668,687千円(前事業年度比340,729千円の増加、10.2%増)となりました。これは借入金の純増192,690千円等によるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は2,623,155千円(前事業年度比5,074千円の減少、0.2%減)となりました。これは四半期純損失△11,391千円等によるものです。

3. 業績予想に関する定性的情報

第2四半期累計及び通期の業績予想につきましては、不確定要因が多く、平成20年5月20日の決算発表時に公表した予想を変更しておりません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積残高の算定方法

当第1四半期会計期間末の貸倒実績率が前会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積額を算定しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

③法人税等の算定方法

税金費用については、税引前四半期純損失であるため、年間の均等割を期間按分して計算しております。なお、法人税等調整額は法人税に含めて表示しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

②顧客である荷主が支払うべき海上運賃、関税及び消費税を当社が一時的に立替払いした場合、従来当該立替額を営業収入と営業原価の双方に含めて計上するとともに、営業未収金として表示していましたが、当第1四半期からの新システム導入により当該立替額を正確に把握できることになったため、財政状態及び経営成績をより適切に表示するため、当第1四半期会計期間から損益計算書上は両建計上を行わず、かつ貸借対照表上は立替金として表示することに変更いたしました。これにより、従来の方法によった場合に比べ、営業収入、営業原価がそれぞれ398,020千円、営業未収金が218,800千円それぞれ少なく表示されるとともに、立替金が218,800千円多く表示されております。

5. 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

	(単位：千円)	
	当第1四半期 会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	1,305,803	1,157,308
受取手形	6,013	17,604
営業未収入金	1,136,565	1,309,465
立替金	486,113	195,050
繰延税金資産	30,976	30,976
その他	222,824	182,018
貸倒引当金	△2,285	△2,654
流動資産合計	3,186,010	2,889,769
固定資産		
有形固定資産		
建物	300,836	308,404
構築物	4,074	4,164
機械及び装置	2,220	2,364
車両及び運搬具	181,124	186,292
工具、器具及び備品	28,533	30,336
土地	576,183	576,183
有形固定資産合計	1,092,973	1,107,746
無形固定資産		
のれん	769,012	779,265
その他	11,914	12,519
無形固定資産合計	780,926	791,784
投資その他の資産		
投資有価証券	997,322	936,516
差入保証金	119,665	119,663
繰延税金資産	1,167	1,167
その他	352,008	340,448
貸倒引当金	△238,231	△230,907
投資その他の資産合計	1,231,931	1,166,888
固定資産合計	3,105,831	3,066,419
資産合計	6,291,842	5,956,188

	当第1四半期 会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
(負債の部)		
流動負債		
支払手形	142,641	150,214
営業未払金	664,249	649,689
短期借入金	600,000	360,000
1年内償還予定社債	70,000	70,000
1年内返済予定長期借入金	555,440	550,040
未払金	194,862	109,021
未払法人税等	43,559	45,618
その他	249,871	190,156
流動負債合計	2,520,625	2,124,739
固定負債		
社債	—	10,000
長期借入金	953,170	1,005,880
退職給付引当金	124,070	110,391
その他	70,821	76,948
固定負債合計	1,148,061	1,203,219
負債合計	3,668,687	3,327,958
(純資産の部)		
株主資本		
資本金	2,321,658	2,321,658
資本剰余金		
資本準備金	241,563	1,153,023
その他資本剰余金	434,438	—
資本剰余金合計	676,002	1,153,023
利益剰余金		
利益準備金	5,856	13,040
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△11,391	△425,643
利益剰余金合計	△5,534	△412,602
自己株式	△10,745	△10,705
株主資本合計	2,981,380	3,051,373
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△358,224	△423,143
評価・換算差額等合計	△358,224	△423,143
純資産合計	2,623,155	2,628,229
負債純資産合計	6,291,842	5,956,188

(2)【四半期損益計算書】

(単位：千円)	
当第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	
営業収入	2,099,318
営業原価	1,973,862
営業総利益	125,456
販売費及び一般管理費	131,897
営業損失(△)	△6,441
営業外収益	
受取利息	407
受取配当金	12,419
その他	8,784
営業外収益合計	21,611
営業外費用	
支払利息	10,555
その他	57
営業外費用合計	10,612
経常利益	4,557
特別利益	
固定資産売却益	529
特別利益合計	529
特別損失	
投資有価証券評価損	6,793
貸倒引当金繰入額	7,324
特別損失合計	14,118
税引前四半期純損失(△)	△9,032
法人税、住民税及び事業税	2,359
法人税等合計	2,359
四半期純損失(△)	△11,391

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況

該当事項はありません。

(4) 株主資本の変動に著しい変化があった場合の注記

欠損金の補填を実施するとともに配当可能原資の充実を図り、今後の資本政策に備えるため、会社法448条第1項の規定に基づき、資本準備金を911,459千円取り崩し、その他資本剰余金に振替えました。また、利益準備金全額13,040千円を取り崩し、繰越利益剰余金(その他利益剰余金)に振替えました。

会社法452条の規定に基づき、その他資本剰余金を412,602千円取り崩し、繰越利益剰余金に替えて欠損填補いたしました。

準備金の取り崩しは「純資産の部」の勘定内の振替処分となり、当社の純資産額に変動はなく、当社の業績に与える影響はありません。

これらは、平成20年5月20日開催の当社取締役会において決議し、平成20年6月26日開催の当社株主総会において承認可決されたものです。

「参考資料」

前第1四半期にかかる財務諸表

（要約）四半期損益計算書（単位：千円）

科 目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金 額
I 営業収入	2,330,422
II 営業原価	2,208,790
営業総利益	121,632
III 一般管理費	146,323
営業損失	△24,690
IV 営業外収益	13,809
V 営業外費用	13,147
経常損失	△24,028
VI 特別利益	26,507
VII 特別損失	200
税引前四半期 純利益	2,279
法人税等	957
四半期純利益	1,322